

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名: 東京都 建設局

事業の名称: 東京都市計画道路幹線街路

環状第8号線整備事業

実施都市名: 東京都 練馬区・板橋区

事業の目的

環状第8号線は、大田区の羽田空港を起点とし、世田谷、杉並などの各区を經由して、北区岩淵町までの延長44.3kmの都市計画道路です。都心から半径約13kmに位置する西側半分の環状道路であり、神奈川県、多摩地域、埼玉県から都心に向け集中する交通を分散する役割を担っています。

環状第8号線の整備により、人や物の流れを円滑にし、また、周辺道路の交通渋滞の緩和による環境改善や地域の防災性の向上に寄与します。

最後の未開通区間であった練馬と板橋の区間約4.4kmを整備したことで、全線(44.3km)が開通になるとともに、環状第7号線の周辺道路の交通量が減少し、旅行速度が上昇するなどの事業効果が発現しています。

事業概要(1)

事業名:東京都市計画道路幹線街路環状第8号線整備事業
路線名:環状第8号線
事業箇所:杉並区井草三丁目～板橋区相生町
事業延長:4.4km
幅員:25～44.5m(4車線)
総事業費:約1,400億円
事業期間:平成6年～平成17年

事業概要(2)

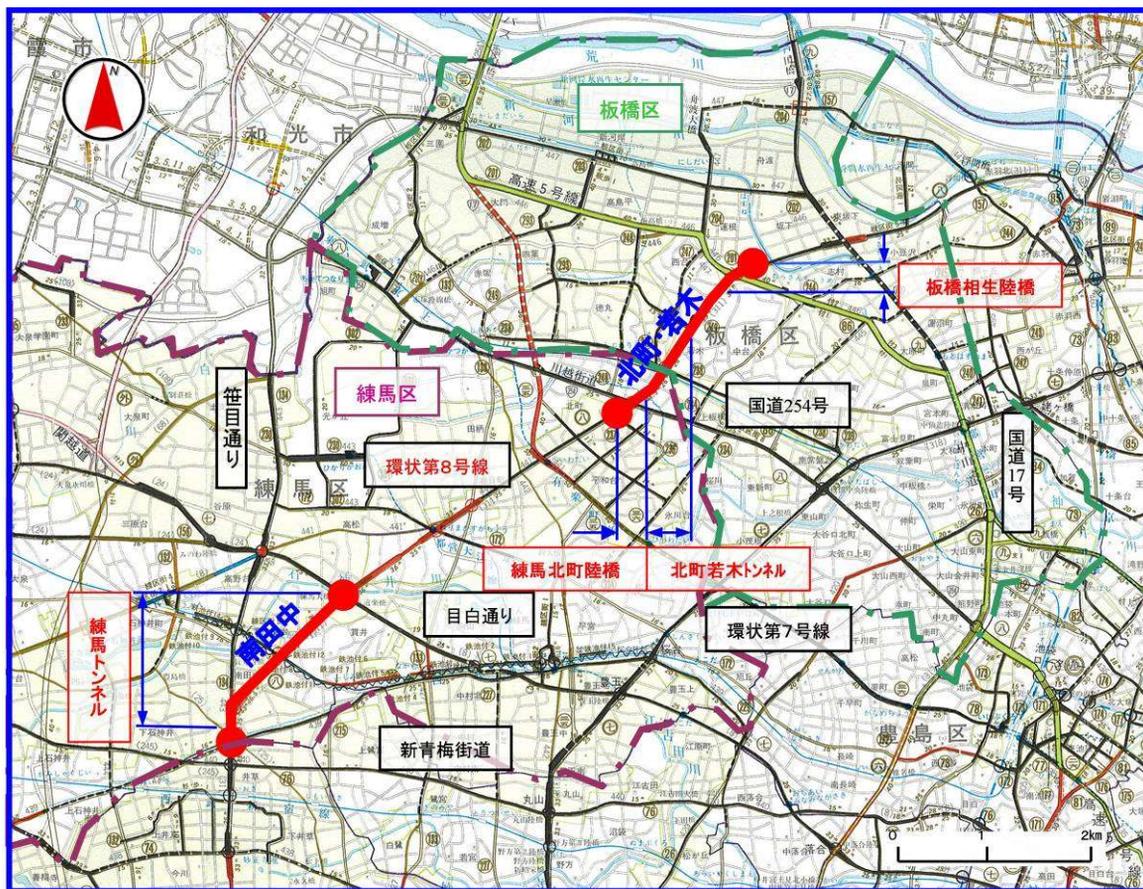
本事業は、練馬トンネル(半地下式トンネル)約1.9km、練馬北町陸橋約0.4km、北町若木トンネル約0.6km、板橋相生陸橋0.7km及び平面街路0.8kmを整備したものである。

練馬区南田中の練馬トンネルでは、既存の長大トンネルである井荻トンネルを改良し、半地下式の練馬トンネルを接合する構造とした。これにより、本線(半地下トンネル部)と側道(平面部)が上下に分離され、また自然換気方式を採用することで、沿道環境に配慮した街路整備を行った。

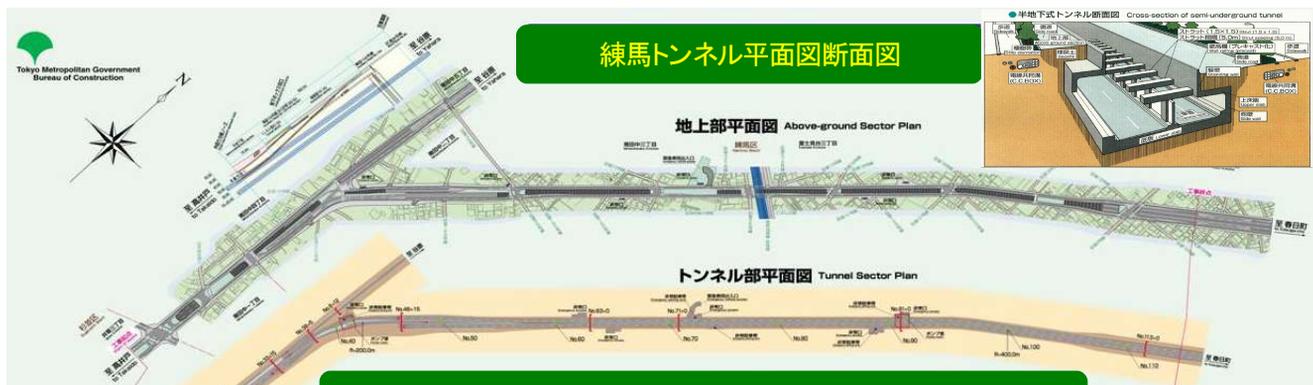
板橋区若木の板橋相生陸橋では、首都高5号線及び補助幹線街路第201号線との間に構築する三層立体構造となる。このため、大気汚染物質(NO_x、SPM)を除去する大気浄化施設及びシェルターを整備し、沿道の大気及び騒音の環境保全に配慮した構造とした。

側道の平面街路部は、全線で電線類の地中化と沿道緑化を進め、バリアフリーかつ緑豊かな歩行者空間を創出する街路整備を行う。

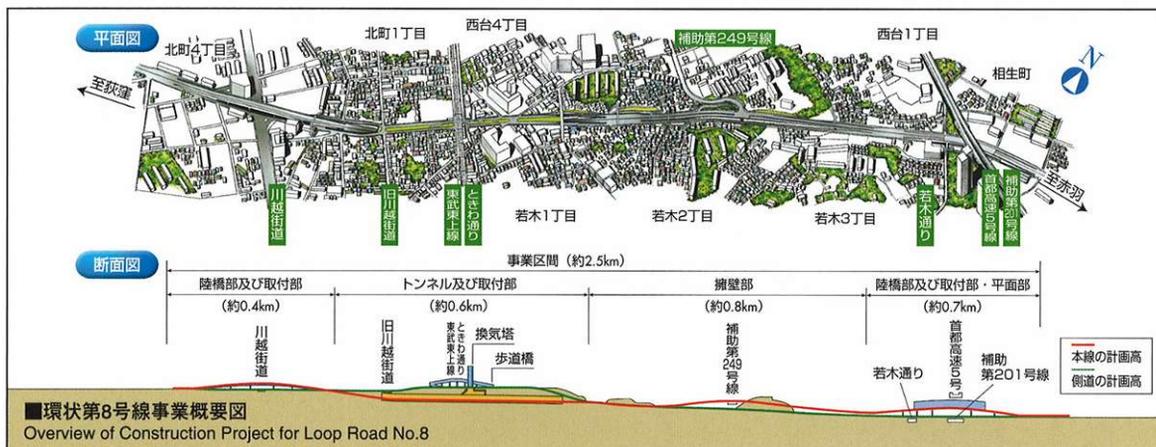
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

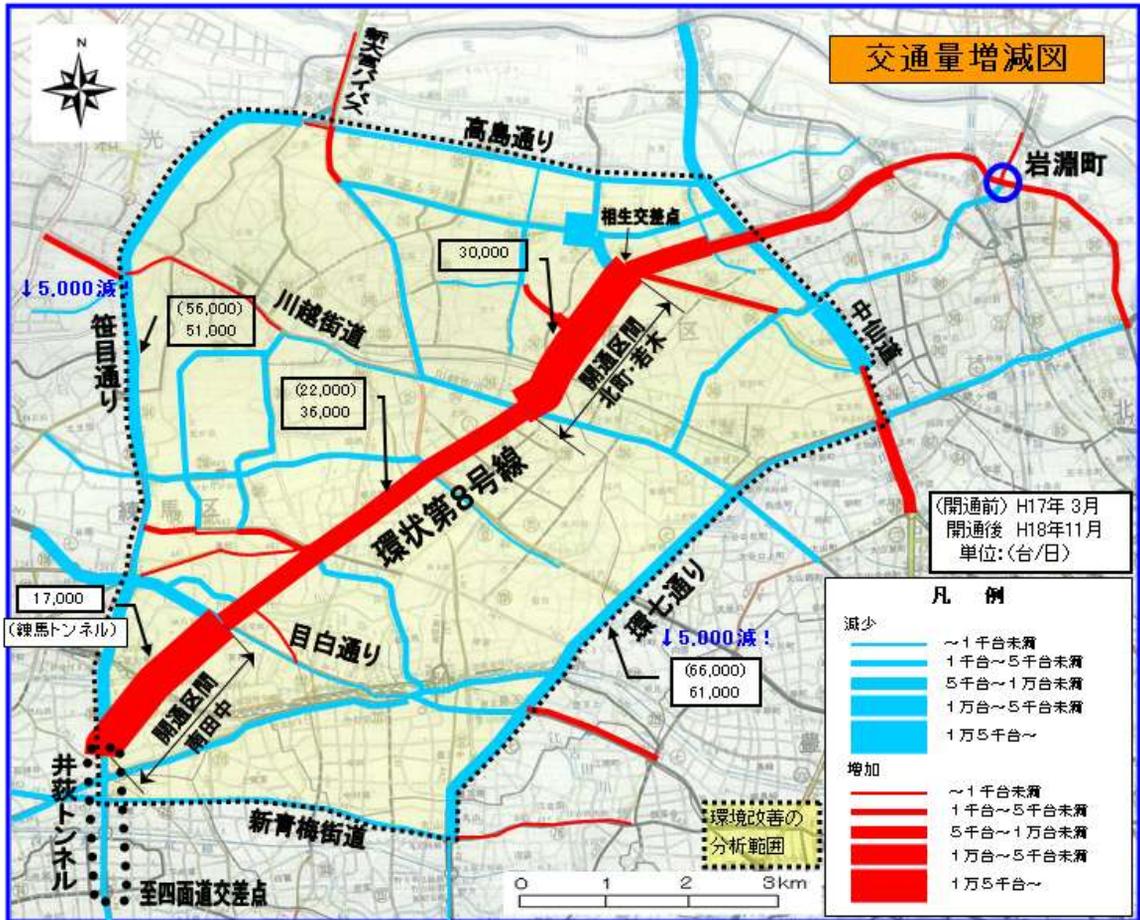


練馬北町陸橋・北町若木トンネル・板橋相生陸橋 平面図縦断面図



■環状第8号線事業概要図
Overview of Construction Project for Loop Road No.8

環状第8号線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名：東京都市計画道路幹線街路
環状第8号線整備事業
路線名：環状第8号線
事業箇所：杉並区井草三丁目
～板橋区相生町
事業延長：4.4Km
幅員：25m～44.5m(4車線)
総事業費：約1,400億円
事業期間：H6～H17年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年3月3日実測
供用後 平成18年11月28日実測

・交通量の推移

環8通り 22,000台→36,000台
環7通り 66,000台→61,000台 **5,000減**
笹目通り 56,000台→51,000台 **5,000減**
◎環7通り、笹目通りの交通量8～9%減少

◎その他周辺の交通量がいずれも減少！

「整備効果」

○旅行速度の向上

環7通り 13.9km/h→**24.0km/h**
笹目通り 14.8km/h→**26.7km/h**

○所要時間の短縮

杉並区四面道⇒北区岩淵町
環7通り経由 77分→**44分**
笹目通り経由 73分→**40分**

○環8周辺の環境改善（推計値）

CO₂：30.7万t/年→27.3万t/年（約**11%**削減）
SPM：75t/年→53t/年（約**29%**削減）



事業前



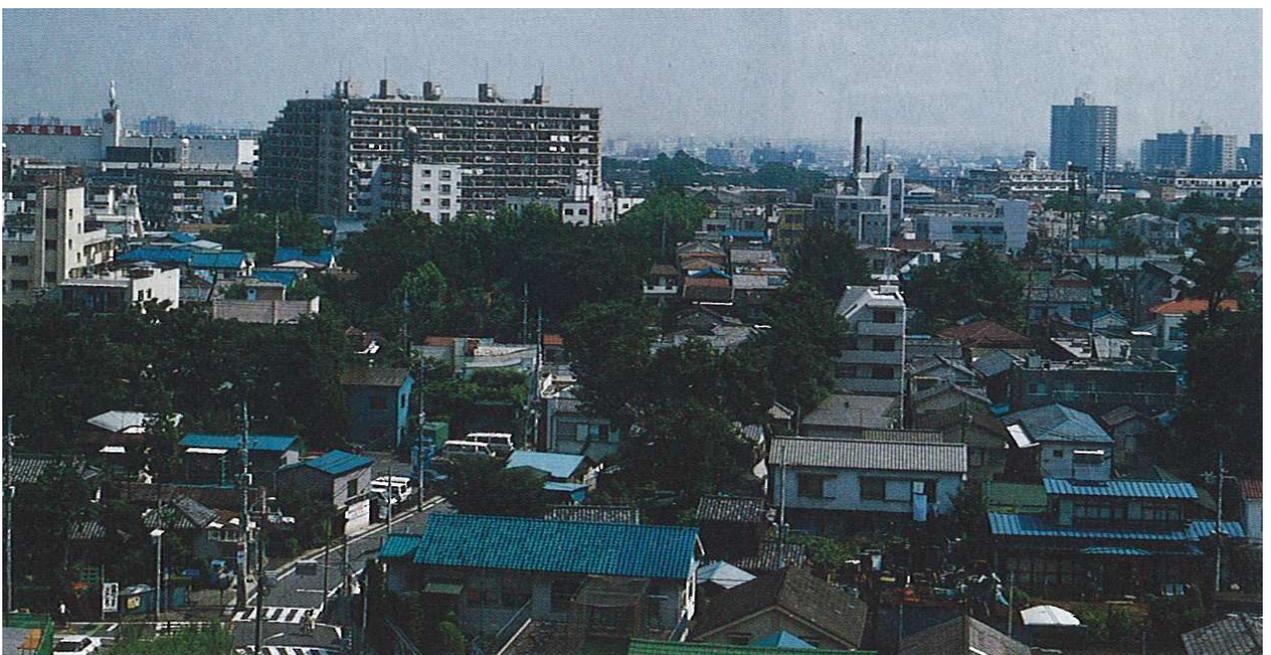
事業後：H18.6

事業前写真

平成7年3月撮影



平成4年10月撮影



事業後写真

平成18年6月撮影



北町若木区間



平成18年6月撮影

北町若木区間

